

慶祝

おめでとうございます
心より祝福いたします

(敬称略)

「市の記念日・市長表彰」

平成29年7月12日付

◎自治振興(町内会長)

佐藤 秀一(榎山登町)

◎社会福祉(民生委員・児童委員)

澤井恵理子(南通築地)

齋藤 毅(南通みその町)

地区への「篤志」

○「香典返し」

2万円 (亡妻) 鈴木 ツルさん

榎山太田町 鈴木雄太郎様

5万円 (亡妻) 佐藤 玲子さん

榎山共和町 佐藤 幹夫様

○「芳志」

1万円 榎山南中町 加藤 俊悦様

5千円 匿名希望

7千5百33円 匿名希望

築山地区敬老会

恒例、当地区社会福祉協議会主催の29年度築山地区敬老会を次の通り開催します。

ご対象の方は、本年度末で満75歳以上(昭和18年4月1日以前にお生まれの皆様)で、お誘い合わせのうえ、ぜひ御出席下さい。

記

日時 9月19日(火)午前11時
場所 榎山コミュニティセンター

赤い羽根共同募金

皆様の協力をお願いします

本年も10月1日から「赤い羽根共同募金運動」が始まります。

皆様からご協力いただいた募金は秋田市共同募金委員会(以下「市共募」)に全額送金され、県市の社会福祉活動の助成等のほか、各地区社協にも配分されるため、地域福祉を高めるうえで極めて重要な社会事業費となります。

秋田市では世帯数に応じ按分して各地区の目標額を決めています。また、各地区社協でも事業の推進に必要な目標額を設定して「市共募」に提出しています。募金の実績額が目標額合計を上回ると地区への配当金が加算されます。本地区は皆様のご協力により昨年目標額を超えることができました。

「歳末助け合い配分原資金」と合わせて、地区の福祉事業の推進や諸団体への助成などに充てることが出来ます。

「歳末助け合い募金」も含めて、各町内会の皆様にご難儀をおかけしますが、共同募金活動の趣旨のご理解と募金へのご協力をよろしくお願い申し上げます。
(築山地区共同募金会)

謹んで哀悼の意を表します
築山地区社会福祉協議会
元理事 富川 有策様
平成29年6月19日(逝去・77歳)

会務報告

平成29年3月～平成29年8月

3月1日 築山社協だより第51号を発行し、民生委員、町内会長を介して全世帯に配布

3月14日 市共募実績報告会に会長出席

3月21日 市社協理事会に会長出席

4月6日 平成28年度会計監査実施

4月13日 地区社協役員会を開催し、総会提出議案を審議

4月29日 当社協定期総会を榎山コミセンで開催し、平成28年度事業報告、同決算、平成29年度事業計画・予算・役員改選について審議承認

5月19日 市社協監事会に会長出席

5月25日 市社協理事會に会長出席

6月12日 「築山社協だより編集委員会」を榎山コミセンで開催

6月14日 第1回グラウンドゴルフ大会を築山小で開催

6月28日 カラオケ大会実施

6月29日 市社協連絡会総会に会長出席

7月7日 敬老会該当者を民生委員・町内会長に調査を依頼、地域福祉活動合同研修会に会長・役員多数出席

7月14日 地域福祉推進関係者連絡会に3名の役員が出席

7月22日 第2回グラウンドゴルフ大会を築山小グラウンドで開催

7月28日 「災害に備えた支え合いの地域づくり研修会」を榎山コミセンで開催

7月29日 共同募金運動資材を市共同募金委員に申請

8月17日 敬老会該当者に案内状を民生委員等を介し、町内会長から配布

編集後記

9月1日は「防災の日」。一頃は、「二百十日」と言われていた。だが、天変地異は、いつどこでも起こり得るもの。7月22日から23日にかけて、記録的大雨に見舞われた秋田県内では、川の氾濫で多くの浸水被害が出たが、築山地区でも避難指示が発せられた町内があった。同居家族は四六時中、いつも一緒とは限らない。買物、音楽会・美術展の鑑賞、会議・パーティへの参加等、結構お互いの行動が広がる。「てんでんこ」という語句。各人銘々が危難に際して、独自の立場・判断で避難する様子だ。築山地区でも自主防災組織の結成率を高め、各町内組織での災害時の避難先、避難経路や要援護者の住居など事前に確認しておくことが重要である。避難勧告されたら家族や地域の方の手助けで、南中学校や築山小学校など最寄りの通常指定避難所へ。災害では「自らの安全は、自らが守る」が基本。折りしも、地区3協議会の「ジョイント研修会」が過日開催された(5面参照)。
(北條 晃)

編集委員

北條 晃
加藤 俊悦
京屋 均
樋渡 久孝

連絡先(事務局) 榎山 久孝

地域の大人は心の先生



秋田市立築山小学校
校長 鈴木 了

5月31日に「築山小学校安全ボランティア感謝集会」が本校体育館で開催されました。集会には見守り活動に尽力されている地域・団体の方々からご参加いただき、児童会主催で行われました。上の写真はそのときの様子です。感謝のしるしとして贈られたメダルを掲げて、子どもたちと一緒に校歌を歌っている場面です。毎日事故なく安全に登下校ができていくことに、みんなの笑顔がこぼれていました。

昨今、登下校中の交通事故や不審者事案が全国的に頻発し、子どもたちの「安全・安心」が脅かされる状況が憂慮されています。この地域では、「築山小学校安全ネットワーク協議会」が組織され、見守り活動等を継続していただいています。

関係する地域諸団体は、多岐にわたり、さらに地域ボランティアの皆さんを含めて、現在70名を超える方々から登録いただいています。それに本校PTA会員と教職員を加えた組織であり、大変心強くありがたく感じています。さて、本校は今年度から2年間新しい道徳の授業の在り方について

このように、地域のために普段から頑張っている皆さんは子どもたちのあこがれであり、心の先生なのです。卒燈まつりや榎山かまくらまつり、クラブ指導や読み聞かせ、校外学習など様々な活動でお世話になります。いつも子どもたちに寄り添い、導いていただければ幸いです。

築山社協だより

第52号
平成29年9月1日
築山地区社会福祉協議会
発行人 加藤 俊悦
(題字: 茂林 憲子)

築山小学校 安全ボランティア感謝集会



毎日、安全に登下校や、生活出来るのは「地域の方々に見守られておかげ」と児童が感謝するイベント。安全ネットワークの協議、情報交換も行なう。(6面)安全ボランティア活動

災害時の支援体制づくり重点に

29年度築山地区社協 定期総会

平成29年度の築山地区社会福祉協議会定期総会は、4月29日午後2時から、榎山コミュニティセンターで開催。役員、評議員ら70名が出席し、事業計画や予算などを審議しました。

はじめに加藤俊悦会長が挨拶（別稿）

に要旨）し、「昨年は設立60周年記念事業のため十分に取組めなかった災害時の要援護者避難支援プランづくりを町内会や民生児童委員らと協力しながら進めたい」などと述べました。当日は、来賓として秋田南中学校・



加藤俊悦会長のあいさつ概要

町内会長・民児協の方々や地区の皆様には、平素から地区社協事業に甚大なご尽力を賜り深く感謝申し上げます。

今年度は、町内会長・民生委員・社協役員等が連携を強化し、「災害時要援護者支援プラン」の作成に本腰を入れる取組や研修を開催し

たい。市当局職員による講話等も企画し、実効性のある方策を講じていきたいと考えているので、皆様からのご理解とご協力を切にお願いしたい。

また、地域福祉活動を深めるための宿泊研修や、親睦を広げる場としてのカラオケ大会も計画中である。

茜谷英也校長、築山小学校・濱松寿教頭、榎山交番・金昌千世所長様のご臨席を得ました。

議事に入り、議長は佐々木洋吉副会長が担当、加藤会長から28年度事業・決算報告、さらに29年度の事業計画・予算の議案説明があり、それぞれ原案通り（会計報告は3面に）了承されました。また任期満了に伴う役員選出では、加藤俊悦会長が再任されたほか副会長、監事を選出、顧問、理事らの会長委嘱が以下別稿の通り決まり、議事は滞りなく終了しました。

日本赤十字社秋田市地区築山分区分区長・妹尾弘氏から「29年度日赤会員増強運動」への協力依頼もありました。

◆平成29年度事業計画の重点目標

- 1 高齢者の健康づくり、生きがいづくりのための活動を展開します。
- 2 地区敬老会を実施し、老人クラブ助成など老人福祉充実を図ります。
- 3 児童センター、保育園、子ども会育成会などへ助成します。
- 4 災害時要援護者避難支援プランづくりに向けた研修を行います。
- 5 地区民児協など4団体に助成し、活発な活動を期待します。
- 6 社協だよりを年2回発行し、全世界に配布します。
- 7 軽スポーツ、カラオケ大会など地域交流を特別事業で展開します。

築山地区社協役員名簿（順不同）

平成29年8月1日現在 選任・委嘱

- ◇会長 加藤 俊悦（再任・榎山南中町）
- ◇副会長 佐々木洋吉（同・榎山共和町）
- ◇理事 鈴木 夏代（同・榎山寺小路）
- 妹尾 久孝（同・榎山太田町）
- 京屋 均（新任・榎山本町）
- ◇顧問（会長委嘱） 高桑 博（再任・南通みその町）
- 神田 武（新任・榎山南中町）
- ◇監事 三浦 隆一（再任・榎山川口境）
- 佐藤 秀一（同・榎山登町）
- ◇理事 22名（会長委嘱）
- 妹尾 克利（榎山南中町）
- 北條 晃（榎山本町）
- 伊勢 定正（榎山大元町）
- 中川 巖（南通築地）
- 松原 昭夫（南通宮田）
- 藤原 賢一（榎山川口境）
- 川井 精一（榎山本町）
- 小松 勇（榎山石塚町）
- 佐藤 哲郎（榎山南中町）
- 佐藤 義孝（榎山愛宕下）
- 高橋 安成（榎山南新町）
- 佐川喜代四（東通館ノ越）
- 長谷川誠志（榎山石塚町）
- 田口 学（榎山登町）
- 菊地登喜子（同）
- 佐藤 翠（南通みその町）
- 佐藤美智子（南通宮田）
- 根田 文子（榎山川口境）
- 山上 一之（榎山太田町）
- 福井 修（同）
- 工藤 裕紀（榎山本町）
- ◇評議員 右記以外の民生児童委員、主任児童委員、町内会長、福祉協力員

日本赤十字社の役割 赤十字はこんな活動をしています

日本赤十字築山分区分長 妹尾 弘

日本赤十字には、「命と人々の尊厳を守る」という特別の想いがあると言われます。

【災害救護活動】6年前、東北地方が大地震と津波に襲われたとき、秋田赤十字病院の救難班は短時間の準備の後、夕闇迫る道を東海岸に向けて出発します。どこがどうなっているかわかりません。「あの時秋田県はほとんどの地区で停電して、テレビが見られなかったのを覚えていますか？」

救難班の人たちは、車から無線で情報を取りながら、自分たちが行くべき場所を絞り込んでいったそうです。「後に分かるのですが、宮城県石巻市の赤十字病院医師がキャップになって総合的に判断しながら各地からの救難班に、行ってほしい場所を指示したという事です」

結局秋田の救難班は、岩手県の陸前高田市に入ります。今、一本松で知られている街ですが、総てが流されてしまった市の急ごしらえの救護所で、救難班は不眠不休の救護活動を続けます。「救難班は着の身着のままですし、食べるものも自分たちで準備していかねければなりません」。次の救難班が到着して漸く交替となるのです。

その後も秋田のチームが陸前高田市の救護所を引き受けていくのですが、時間が経つに従って必要になる

のが「このころのケア」だったそうです。そうした活動のために、看護師、療法士といった人たちの役割も非常に大きいということでした。

【地域防災支援・赤十字講習】

さて日常的には私たちの町内でも「炊き出し」やAEDの使い方、救急法といった講習や訓練が行われますが、これも赤十字が進めている仕事なのです。着衣のままの泳法など実践的な救急法も知られるようになりましたから、皆さんもどこかで体験されていることでしょう。

【赤十字ボランティア・青少年赤十字（JRC）活動】そして力が入れられているのが赤十字ボランティアの育成です。それを支える気持ちや心を育むために小、中、高校には、JRC活動が設けられています。「気づき」「考え」「実行する」力を身につけてほしいと望まれています。

【国際活動】最初に紹介した救難班などは必要（緊急支援・復興支援・防災力強化事業）があれば、海外にも派遣されるそうで、そうした準備も日頃から行われています。

皆さんから毎年拠出いただいている会費が、赤十字のそうした活動を支えている重要な資産になっているのです。

問い合わせ先

平成29年6月1日現在

築山学区町内会長連絡協議会			会長：佐藤 秀一 副会長：岡部 かず子、山上 一之			
町内会名	会長名		町内会名	会長名		
宮 田	松田 昭夫		榎山虎ノ口新町	渡邊 孝一	愛宕下東丁	田中 繁
JR宮田自治会北	佐藤 涼太		南 新 町	長門 永興	愛宕下西丁親交会	佐藤 義孝
イーストハイム宮田住宅	籾内 裕哉		森林管理局第17アパート	多田由喜男	愛宕下南丁	松淵 隆
築地北町	鈴木 正志		太 平	岡崎鋼一郎	愛宕下北丁	若木 渥
築地東上町	皆川 千景		牛島橋通町	伊勢谷順一	愛宕下中丁	上神谷雄二
築地窪町	伊藤 勝美		牛島橋通り南部	安田 崇	城南 町	加藤 秀逸
築地上本町	伊勢 定正		榎山共和町	菅原 文夫	金照寺山	佐藤 敏信
築地下本町	渡曾 恭子		榎山下浜町	佐々木るり子	寺小路北	内藤 眞吾
築地中町	吉田 正則		川口境西部	進藤 光正	寺小路南	三浦 五郎
築地西町	藤澤 義人		登町南部	三平 良一	城南みなみ	堀井 満
築地睦会	加賀屋 恵		川口境東部	柴田 俊雄	榎山石塚谷地	打矢 春信
榎山本新町上丁	加賀屋 昇		若草団地	木村 正美	榎 山	伊藤 達男
榎山本新町下丁	佐藤 翠		入 川 橋	米谷 和真	榎山石塚町	原田 福夫
榎山上本町	中川 利宗		十 軒 町	進藤 幸男	榎山石塚新町	金野 浩
榎山本横町	津谷由紀子		米 沢 町	滝澤 文雄	太田町連合町内会	高橋 泰博
内 木 町	柳原久美夫		登町東部	相場 和志	太田町本町	佐藤 賢二
榎山本町下丁	佐藤 茂徳		登町中央部平和会	田口 学	太田町山水会	土岐 文雄
榎山古川新町	保坂 金雄		登町西部	佐藤 秀一	太田町東部	石塚 民夫
百石橋通り	波多野達雄		亀ノ町栄町	岡部かず子	太田町睦会	土田 千明
榎取町親睦会	安藤 秀樹		餌 刺 町	斉藤 良治	太田町栄町	甘野 朋子
末 無 町	工藤 裕紀		九郎兵衛殿町	新城 正弘	太田町南町	佐藤 恒夫
医王院前町	大竹 敦		笹 町	福田 洋介	太田町新町	山上 一之
榎山広小路	竹下 隆基		三 枚 橋 町	佐々木重雄	太田町旭町	佐藤 正

築山地区社会福祉協議会の 会計報告

平成28年度決算及び平成29年度予算

収 入

単位：円

科 目	28年度決算額	29年度予算額	予算に対する内容説明
1 会 費	1,107,040	1,101,600	360×3,060世帯
2 共同募金一般配分金	914,024	857,518	平成28年度地区共同募金実績による配分
3 友愛訪問事業交付金	141,818	141,818	見守りネットワーク事業
4 助 成 金	1,250,618	1,250,618	地区福祉活動 492,000、健康支援他 758,618
5 補 助 金	1,557,000	1,557,000	敬老会(市補助)
6 寄 付 金	115,000	100,000	
7 諸 収 入	1,047	677	普通預金及び定期預金利息
8 繰 越 金	1,392,082	1,348,769	平成28年度からの繰越
合 計	6,478,629	6,358,000	

支 出

単位：円

科 目	28年度決算額	29年度予算額	予算に対する内容説明
1 会 議 費	96,503	150,000	
2 事 務 費	105,811	200,000	
3 老 人 福 祉 費	1,669,774	2,090,000	敬老会 2,000,000 3 老人クラブへ助成 90,000
4 児 童 福 祉 費	170,000	170,000	地区内3 保育園 60,000 築山きりんクラブ 20,000 築山小学校子供会育成 40,000 築山児童センター運営助成 50,000
5 災 害 見 舞 金	0	100,000	
6 研 修 費	46,000	600,000	市社協、7 地区・Bブロック研修、宿泊研修他
7 助 成 金	140,000	170,000	築山地区民生児童委員協議会 40,000 築山学区町内会長連絡協議会 40,000 築山地区自主防災組織協議会 35,000 榎山コミュニティセンター 25,000 築山地区体育協会 30,000
8 広 報 費	408,508	420,000	築山社協だよりの発行 (年2回)
9 慶 弔 費	0	50,000	
10 特 別 事 業 費	1,332,264	1,000,000	地域交流行事 500,000 高齢者への激励訪問 150,000 幼児と高齢者のふれあい行事 50,000 軽スポーツレクリエーション大会他 100,000 グラウンドゴルフ、カーリング大会 150,000 カラオケ大会 50,000
11 市 社 協 納 入 金	1,141,000	1,140,000	全戸会員会費 1,101,600 特別会費他 38,400
12 予 備 費	20,000	268,000	
合 計	5,129,860	6,358,000	

※ 上記の外に、基金として4,000,000円の定期預金(北都銀行榎山支店)

築山安全ボランティア活動

「地域みんなで見守り活動」

鈴木 夏代
(榎山字寺小路)



2年生と一緒に入場の安全ボランティア



児童代表(5年生)から感謝の言葉を頂く

未来を担う子どもは地域の宝です。しかし子どもたちを巡る事件・事故が後を絶たず、安全確保が課題となっています。

築山安全ボランティア(70名)は、子どもの安全安心できる地域づくりのため、見守り支援活動を行なっています。去る5月31日には、築山小学校の全校児童とボランティアとの交流集会が同校で開催されました。

はじめに代表の児童から、日頃の見守り活動に対して感謝の言葉を頂いた後、参加のボランティア全員が自己紹介を行ないました。これは地域の大人と子どもが顔見知りとなる事で円滑に安全を確保するためです。また、一年

生全員からの微笑ましい手作りプレゼントを頂き、心温まる交流集会となりました。

続いて安全ネットワーク協議会・情報交換会では、学校での安全指導や通学路の危険箇所等の説明を受けて対策を協議しました。特に冬の通学路の雪が大変危険であるとの事で、地域の皆様の除排雪のご協力をお願いいたしました。

毎日家庭では、当たり前のように子どもたちの元気な「行ってきます」「ただいま」の声が続いていますが、これは様々な危険や事故に遭わずに帰宅している証である事を忘れてはいけません。



チャイルド・セーフティ・センターの出演
児童の下校時、路上で不審な男(なまはげ出演)に声をかけられた場合の防犯寸劇(1~3年生対象)

合言葉=イカのおすしが大事です。

- しらない人についていかない
- しらないくるまにのらない
- ⓐおごえでさげぶ
- ⓑすぐににげる
- おとなにⒸらせる

子どもたちが健全に育つために必要な生活安全・交通安全・災害安全の確保は、家庭や学校・地域の連携で守られているのです。(築山社協・副会長)

仲間づくり！生きがいくくり！健康づくり！ いきいき地域サロン

サロンの名称	例 会 日 時	開 催 場 所	代表者・連絡先TEL
グラウンドゴルフ友の会	毎週(火)・(金) 午前9:30	榎山公園	佐川喜代四
	毎週(木) 午後1:00	榎山公園	
	毎月第2・4(土) 午前9:30	築山小グラウンド	
榎山合唱クラブ	毎月第2・4(木) 午前10:00	榎山コミセン	妹尾 克利
フローカーリング会	毎月第3(土)・翌週(日) 午前9:30	榎山コミセン	佐藤 敏勝
囲碁クラブ	毎週(土) 午後1:00	榎山コミセン	大島 洋三
太田町ほほえみサロン	毎月第2・4(月) 午前10:00	太田町町内会館	福井 陽子

町民へ見せるまちの動き

地域活動



築山小学校では、全校児童でブルタブとアルミ缶を集めており、児童代表がその換金4万2597円を3月16日、市社会福祉協議会に寄付した。受け取った野口良孝会長は「地域に役立てます」と感謝を述べた。

築山小学校2年生9人が、地域を学ぶ「まちたんけん」として6月28日、築山コミュニティセンターを訪れ、利用サークルを見学したり、質問をしながら熱心に見て回った。



地区の高齢の人たちは、毎年築山コミュニティセンター前の花壇の世話をしている。6月16日には5人がマリーゴールドの苗を植えた。訪れる人たちを和ませている。



愛右下橋前の丁字路交差点信号が、3月13日から新システムに移行した。歩行者がボタンを押すと横断歩道が青になり、全方向の車両が停止し、歩行者が横断する歩車分離方式に。

中断していたカラオケ大会が、2年ぶりに6月28日、築山コミュニティセンターで地域の歌好きな31名が参加して開かれた。得意の、のどを披露し合い楽しく過ごした。

◆ 築山地区・三協議会共催 災害に備えた支え合いの地域づくり研修会

7月28日、築山コミュニティセンターで、築山地区各町内会長、民生児童委員、築山社会協議会等、各協議会の計88名が一堂に集い、「災害時における自力での避難行動が困難な方々に対する支援」を主たるテーマとした研修会を開催いたしました。

はじめに、秋田市・市民生活部中央市民サービスセンターの八木橋久美副所長、佐川誠樹副参事、土佐一平主査による講話があり、個別の避難支援プランの作成や、町内会と民生児童委員との連携の在り方などの説明・助言をいただきました。

- ① 要援護者避難支援プランの基本的な考え方
- ② 避難支援対象者名簿の取扱い
- ③ 名簿・リストを活用した取組
- ④ 地域での進め方(例)など

約1時間の市からの説明の後、質疑応答の場があり、参加者からは建設的な意見や質問、要望が出され、本研修会は実に有意義な会となりました。この計画を進めるうえでの諸課題も浮き彫りになり、当地区での課題等を整理して市当局と連携を深めていきます。

最後に、築山学区町内会長連絡協議会佐藤秀一会長(写真中央)から提案が示され、「今後、各町内会長と担当民生委員が、共同で避難支援プラン作成に向け、ブロックごとの会議を開催する」ことを申し合わせました。



おおむね65歳以上の高齢者で、ひとり暮らしなどにより、生活援助が必要な方に、介護保険以外の福祉生活支援として次のサービスが利用できます。

◎ホームヘルパー派遣 (高齢者生活管理指導員派遣事業)

調理、洗濯、掃除など家事のお手伝いをします。(要支援状態または要介護状態のいずれかの方は利用できません)

〔利用回数〕 1日1回で1週間に2回まで
〔利用料〕 1回183円(45分未満)、225円(45分以上)

※生活保護受給者は無料

◎配食サービス (食の自立支援事業)

高齢、障がい、病気などのため、調理が困難な方へ食事を配達し、安否確認を行います。

〔利用回数〕 1日1回で1週間に3回まで
〔利用料〕 配食サービスの事業者やメニューにより異なります。

◎援助員を派遣 (高齢者軽度生活援助事業)

家まわりの手入れや、簡単な修繕、玄関から道路に出るまでの雪寄せなどを行う援助員をシルバー人材センターから派遣します。

〔利用回数〕 1日1回2時間以内で、1カ月

高齢者への福祉生活支援サービス

2回まで(雪寄せは1回1時間以内で、1週間に2回)

〔利用料〕 1回1時間あたり240円
※雪寄せは300円(生活保護受給世帯者は無料)

◎緊急通報システムの貸し出し

ひとり暮らしの高齢者などに緊急事態が発生した場合、ボタンを押すだけで関係機関や協力員に救助を求めることができる装置をお貸しします。また「お元氣コール」により、週1回安否確認を行っております。

なお、申込みの際は、原則3名の協力員が必要となります。

〔利用者負担額〕 本人の介護保険料の段階により異なります。

◎高齢者コインバス事業

秋田中央交通が、市内で運行する路線バスやマイタウンバスで、「コインバス資格証明書」を提示すると、一律100円で利用出来る制度です。対象者は現在満68歳以上の方ですが、本年10月1日から満65歳以上の方が利用出来るようになります。

以上、利用についての問い合わせは、秋田市・長寿福祉課(秋田市山王1丁目1-1、市役所2階 ☎88815668、または中通地域包括支援センター幸ザ・サロン(中通6丁目4-27) ☎82713323)へどうぞ。